

事業概要【マイナンバーカード村民カード化構想】

実施地域	新潟県弥彦村	事業費	24,972千円（300,000千円以内）
実施主体	新潟県弥彦村、株式会社BSNアイネット、株式会社プレス	人口	7,800人
事業概要	本事業ではマイナンバーカードを利用した複数のサービスを展開し、“巡回バス乗車管理システム”で村内を移動し、本の貸出や選挙受付等の行政サービスを一貫してマイナンバーカードを利用した取組が行えるよう展開を目指していき、カードに対しての住民への理解を深め、“デジタル社会のパスポート”として根付いていくように進めていく。		

取組内容

【はじめに】

・弥彦村では、行政手続きのオンライン化や書かない窓口などデジタル技術を活用した取り組みを進めているが、村民が身近に感じられるサービスとしての取組はこれからの状態であり、現状マイナンバーカードを利用した行政サービスは証明書のコンビニ交付サービスのみである。

【マイナンバーカードを利用して展開するサービス】

①図書館カードシステム

・本の貸出を図書館カードではなくマイナンバーカードを利用して貸出を行えるようにする。

②巡回バス乗車管理システム

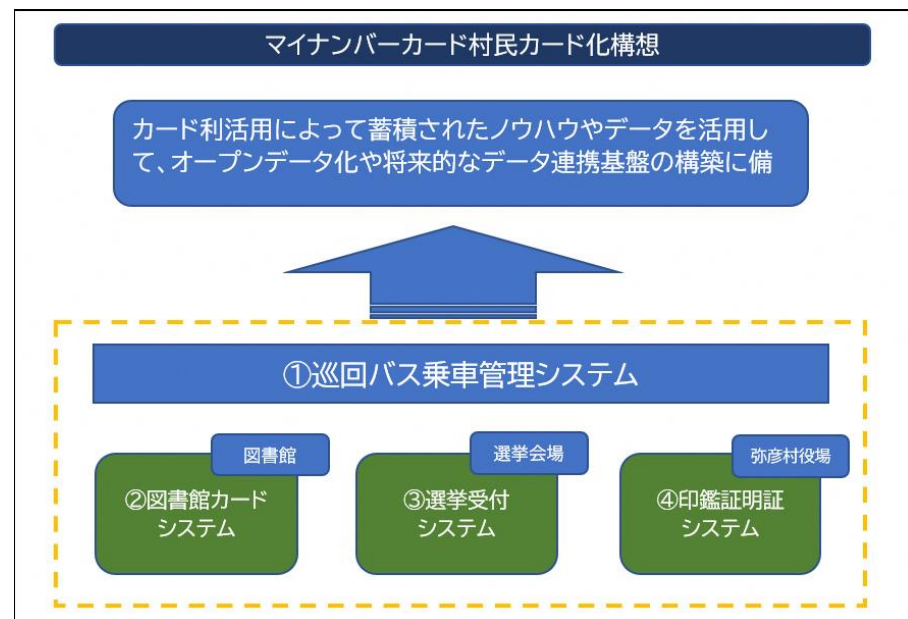
・巡回バスの乗車及び降車時にマイナンバーカードをピッとタッチするだけで、本人確認を行い、弥彦村民であれば乗車賃100円が無料となる。

③選挙受付システム

・選挙券を提示せずともマイナンバーカードによる本人認証で選挙受付を可能とする。

④印鑑証明証システム

・役場では印鑑登録証が無いと印鑑証明書が発行できないが、それをマイナンバーカードでも発行可能にする。



サービス概要（1/4）

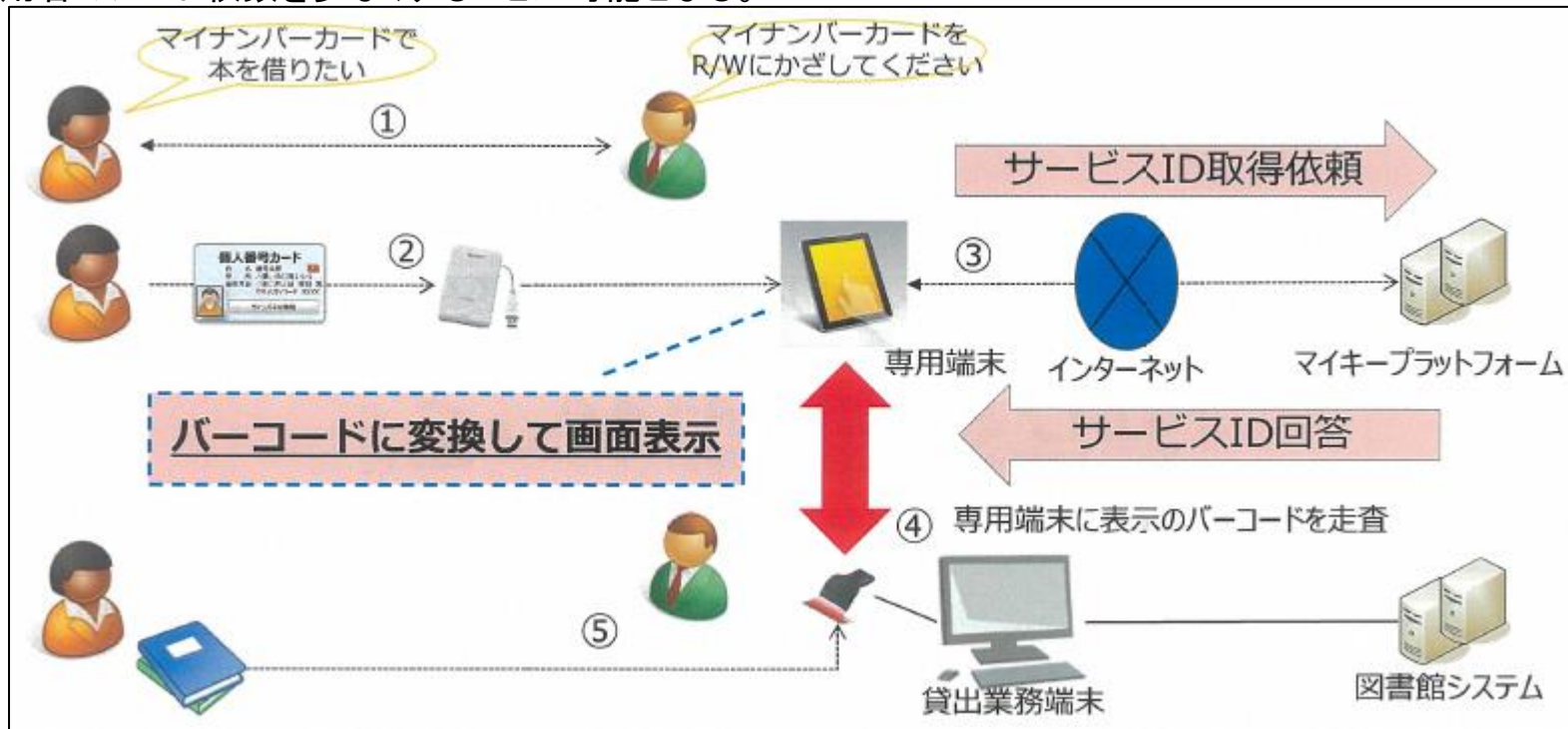
■ サービス内容

サービス名	図書館カードシステム	事業費	677千円
ターゲット	図書館を利用する村民		
展開エリア	弥彦村図書館		

サービス内容（事業分野）

④文化・スポーツ

- ・マイナンバーカードのカードAPに弥彦村図書館の利用者情報を登録して、本の貸出を可能とする。
- ・本を借りる際は読み取り機にカードを置くだけで良いため、接触回数が減り感染症予防対策となる。
- ・利用者のカード枚数を少なくすることが可能となる。



サービス概要（2/4）

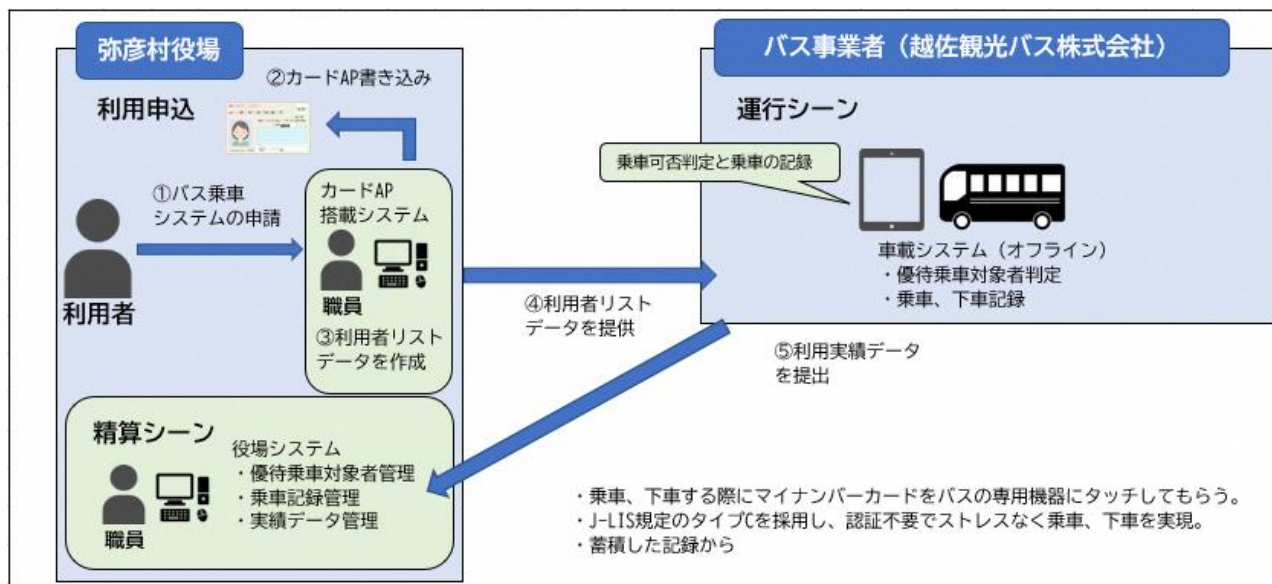
■ サービス内容

サービス名	巡回バス乗車管理システム	事業費	16,351千円
ターゲット	弥彦村民		
展開エリア	弥彦村		

サービス内容（事業分野）

②住民サービス

- ・マイナンバーカードのカードAPに巡回バスの利用者情報を登録して、乗車・降車の管理を可能とする。
- ・フリー乗車区間というその区間であればいつでも乗り降りできる区間があり、今まではどの地域が多く乗り降りしているか体感でしかわからなかったが、位置情報も集計するため、今までよりより詳細なデータを収集できるためより有効的な交通政策を提供することが可能となる。
- ・サービス利用者には定期的にGoogleアンケート等による満足度調査を行い、利用者数の拡大を目指す。
- ・「ピッ」とワンタッチで乗車及び降車することが可能となり、バスが停留所で停まる時間を短縮することが可能となる。

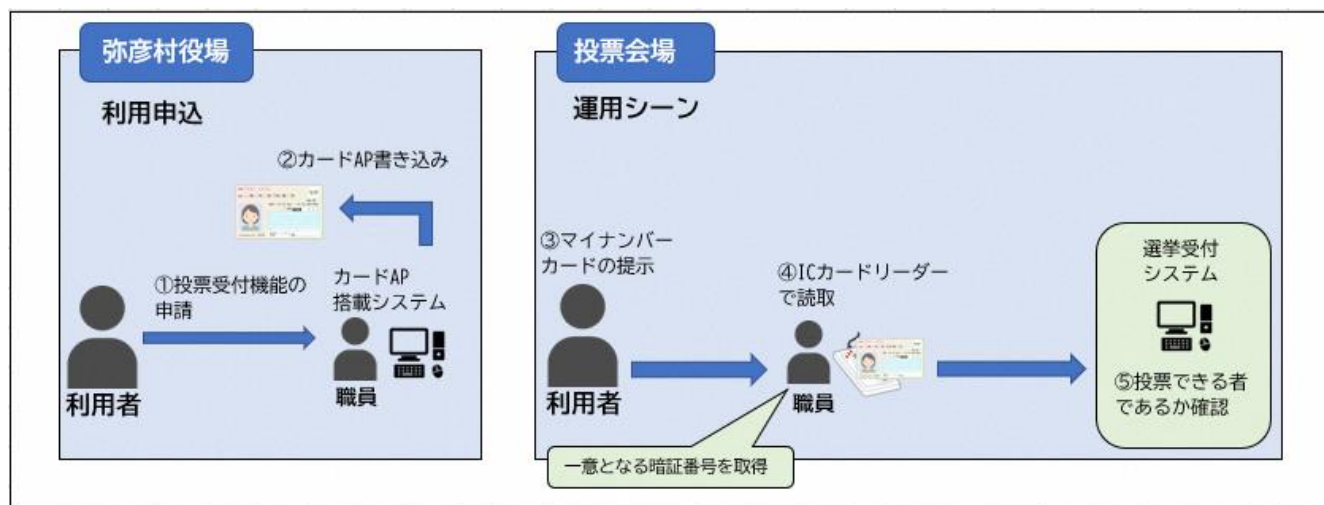


サービス概要 (3/4)

■ サービス内容

サービス名	選挙受付システム	事業費	4,412千円
ターゲット	弥彦村民		
展開エリア	弥彦村		
サービス内容 (事業分野)		①行政サービス	

- ・マイナンバーカードのカードAPに利用者番号を登録して、入場券を利用せずとも受付を可能とする。
- ・入場券による受付も可能とする。
- ・カード利用により、待ち時間なく、瞬時に投票できることを目指す。
- ・回線障害などを考慮してスタンドアロン環境で運用することを想定する。
- ・マイナンバーカードにより期日前宣誓書の住民が事前に書かなくとも投票会場で投票事由を聞き取り、宣誓書を出力することで、待ち時間の短縮を図ります。
- ・令和5年度実装だが、5年度内での選挙がないため、活用は令和6年度からとなる。

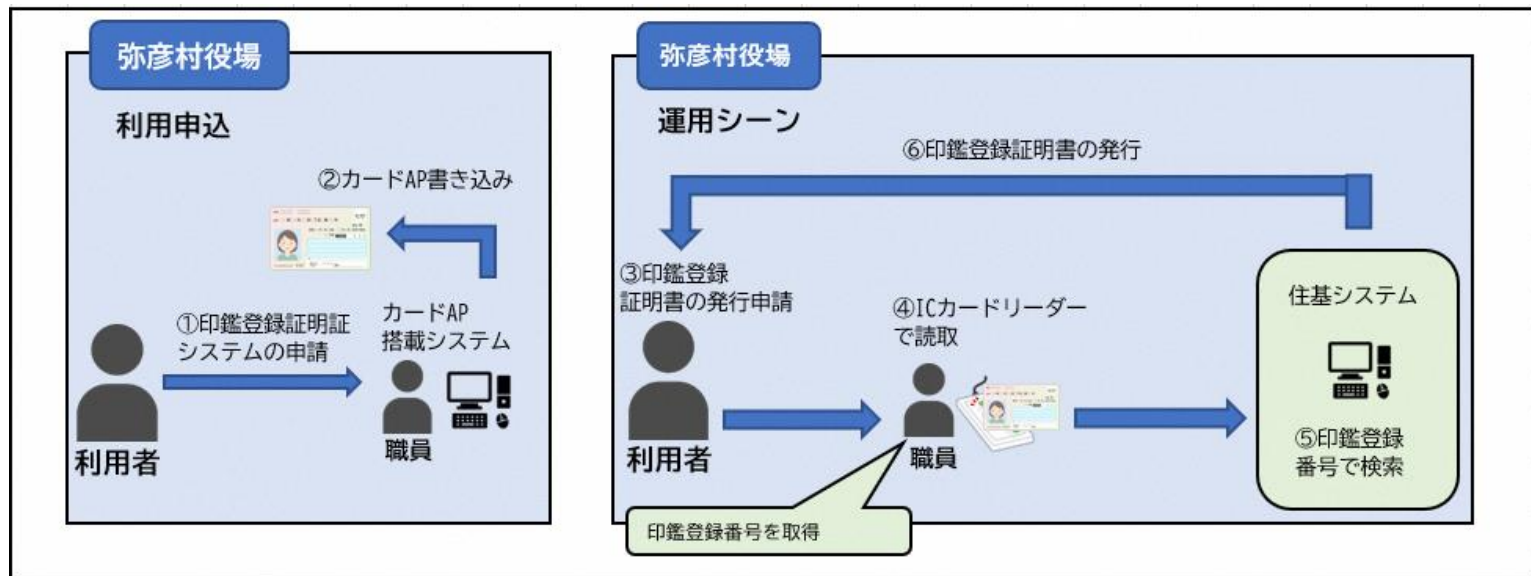


サービス概要（4/4）

■ サービス内容

サービス名	印鑑証明証システム	事業費	3, 532千円
ターゲット	弥彦村民		
展開エリア	弥彦村		
サービス内容（事業分野）		②住民サービス	

- ・マイナンバーカードのカードAPに印鑑番号を登録して、役場窓口でもマイナンバーカードで印鑑証明書の発行を可能とする。
- ・印鑑証明書はコンビニからマイナンバーカードを利用して取得可能だが、役場窓口ではマイナンバーカードを利用した印鑑証明書は発行することができず、印鑑証明カードを持っていない場合は発行することができない。
- ・本サービスでは、マイナンバーカードのカードAPに印鑑番号を登録して、役場窓口でもマイナンバーカードで印鑑証明書の発行を可能とする。



事業概要【阿賀町アプリ実装事業】

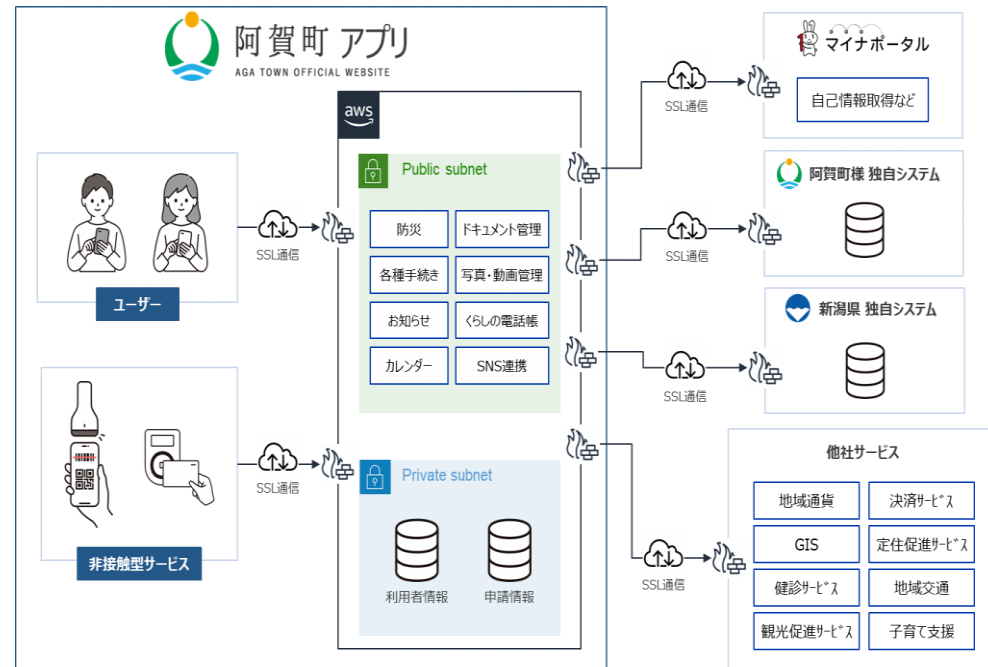
実施地域	新潟県阿賀町	事業費	134,200千円
実施主体	新潟県阿賀町	人口	9,965人
事業概要	<p>阿賀町は、広大な面積に集落が点在してる中で、高齢化率が50%を超えるなど、行政サービスへのアクセスが課題となっている。このような課題を解決するため、町民への情報サービス（地域情報配信、地域ポイント、子育て支援、定期健診案内、介護福祉等）を行うための基盤として、「阿賀町アプリ」を構築し、マイナンバーとの紐づけを行うことでデジタルを活用したサービスを実現する。また、スマホアプリを利用したサービスラインナップを拡充することで、マイナンバーカードを持たなくてもサービスを楽しむ仕組みを構築し、高齢者に対するデジタルの浸透を行うことを目的とする。</p>		

取組内容

「阿賀町アプリ構築」

・町民との双方向コミュニケーションを実現するにあたり、スマートフォン向け阿賀町アプリを構築し地域情報の配信や避難所への誘導などを行う。また、利用にあたりマイナンバーカードと連携することで、情報配信のみならず、各種行政手続きをアプリ上で実装することを実現し、町民の利便性を向上させる。

■ サービス利用イメージ



サービス概要 (1/1)

■ サービス内容

サービス名	阿賀町アプリ構築	事業費	134,200千円
ターゲット	阿賀町民ならびに阿賀町にゆかりのある人々		
展開エリア	新潟県阿賀町		
サービス内容 (事業分野: ①行政サービス ②住民サービス)			

【マイナンバーカード連携】

・本事業にて構築予定の阿賀町アプリにマイナンバーとの紐づけを行う機能を持たせる。これにより、マイナンバーカードの代わりにスマートフォンアプリを利用することで様々な行政サービスを利用することを可能にする。

【町の手続きシステムとの連携】

・阿賀町アプリより、新潟県電子申請システムを利用することができる。

【町からのお知らせ/ごみカレンダー】

・広報紙やイベント情報、回覧版など、マイナンバーを活用し、対象の方へお知らせをpush通知する。
・対象地域のごみ収集カレンダー、ごみ分別検索機能を登載します。

【防災・避難所情報】

・有事の際に避難所への誘導や、アプリを用いて避難所への受入れを行うことができる。また、各避難所ごとの避難者数のカウントを行うことができる。これにより、地域の安心・安全を担保することが可能となる

【病後児保育室申請支援】

・病後児保育を利用するためには登録申請、利用申請の手続きが必要となるため、アプリから登録と利用申請が行えるようにして効率化を図る。また、マイナンバーを用いて処方箋情報を取得し、申請に必要な作業負担を軽減する。

■ サービス利用イメージ



事業概要【粟島既存アプリとマイナンバーカードで課題解決。相対的な交流人口の拡充へ】

実施地域	新潟県粟島浦村	事業費	239,000千円
実施主体	新潟県粟島浦村	人口	325人
事業概要	<p>粟島浦村は、人口減による人材不足が深刻な問題です。まず、島では無医村、駐在・消防もなく、役場の人材も不足しています。また、生産人口の減少により税収が少ないため、財政難の状況です。そこで、本事業では、粟島既存アプリとマイナンバーカードをこれらの課題解決に活用します。人材不足の課題に対して、マイナンバーカード連携で島にある役場・島内の産業の業務を効率化させ、住民および来島者も手続きの簡略化ができるようにします。税収を上げる取り組みとして、新たな観光資源としてミュージアムアートを実施し、デジタル島民を募ります。それにより、住民だけではなく観光客もマイナンバーカードを連携した「しらせあいアプリ」により島内で使えるクーポンを発行し、交流人口の拡充と税収を上げます。</p>		

取組内容

乗船・宿泊手続きの簡易化・島内の安全管理

マイナンバーカード連携済みの「しらせあいアプリ」で乗船手続きを簡略化します。それにより島民の船の日常的利用の向上と業務効率化をします。また、乗船手続きを利用して、宿泊施設へ情報を共有する仕組みにより来島者及び宿泊施設の手続きを簡略化します。これらの情報は、粟島浦村も共有され、離島の安全性を上げることにつながります。

住民及び観光利用の電子クーポン配布

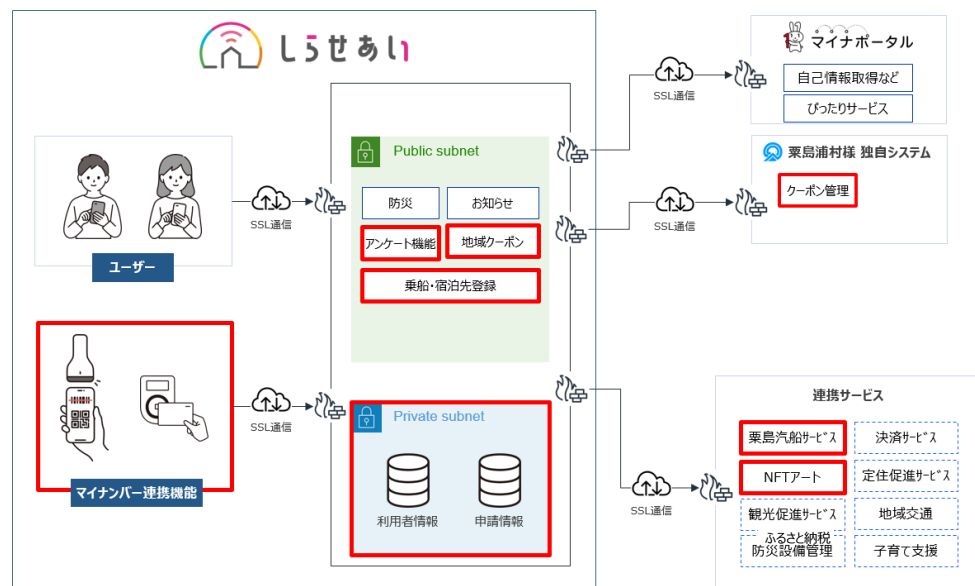
従来地域クーポンの課題として、新規発行に紙・印刷代等の事務経費が多くなることです。マイナンバーカード連携を実施した、「しらせあいアプリ」経由で住民・観光客に合わせた電子クーポンが容易に発行可能となります。

各種申請のオンライン対応

住民にとって使い慣れた既存アプリが入口となることで、各種申請関係のオンライン対応により、住民の利便性は向上し、役場の業務も効率化できます。

「デジタル島民」の募集

交流人口の拡充をねらい、マイナンバーカード連携のふるさと納税ワンストップオンライン申請を実施し、「デジタル島民」の電子住民票を発行、税収につなげます。



※ 赤線は、本事業開発対象

サービス概要 (1/7)

■ サービス内容

サービス名	粟島既存アプリ「しらせあい」機能追加 『乗船・宿泊手続きの簡易化、島内の安全管理』	事業費	38,000千円
ターゲット	粟島への観光客（年間約2万人） / 粟島浦村住民 および 島内観光業		
展開エリア	新潟県粟島浦村、島内観光客（全国）、全国離島航路事業者と運輸業者		

サービス内容（事業分野：①観光）

★運輸事業者からの照会等の窓口開設
(終日、24時間、365日開設します)

STEP1 乗船前にマイナンバーカードと連携

乗船前にxIDアプリでマイナンバーカード連携をします。連携後、しらせあいアプリで個人用のID QRコードが発行されます。その後は、xIDアプリにより認証されます。

STEP2 汽船予約とチケット購入

粟島汽船サービスから 汽船の予約と購入時に、マイナンバーカードと連携することで、個人情報自動入力できます。同時に、宿泊先についても確認、選択することで、宿泊の入力手続きを簡易にすることができます。

STEP3 乗船時にQRコードでチェックイン

乗船チェックイン時に、しらせあいアプリのQRコードをかざしてもらうことで手続きを完了させることができます。乗船名簿がマイナンバーカード連携機能により、乗船名簿が電子化され従来より飛躍的に利便性が向上します。よって住民および来島者の利便性を上げ、汽船業務の効率化につながります。

STEP4 セキュリティゲートでかざしてから乗船

乗船時には、セキュリティゲートでしらせあいアプリのQRコードをかざしてもらいます。乗船後、宿泊施設に通知され、宿泊名簿が作成されます。また、粟島浦村役場も情報閲覧権限を付与し、村内の安全管理に活用していきます。

粟島汽船 乗船までのSTEP



サービス概要 (2/7)

■ サービス内容

サービス名	粟島既存アプリ「しらせあい」機能追加 『各種申請のオンライン対応』	事業費	62,000千円
ターゲット	行政		
展開エリア	新潟県粟島浦村、島内観光客（全国）		

サービス内容（事業分野：①行政サービス ②住民サービス）

各種申請のオンライン対応

（課題） オンライン申請に対応できておらず、申請は役場において手書き押印であり、役場業務のD Xに対応が出来ていない。

役場業務効率化の為にD Xが必要である。
島内の高齢化が高く、D Xに後ろ向きである。

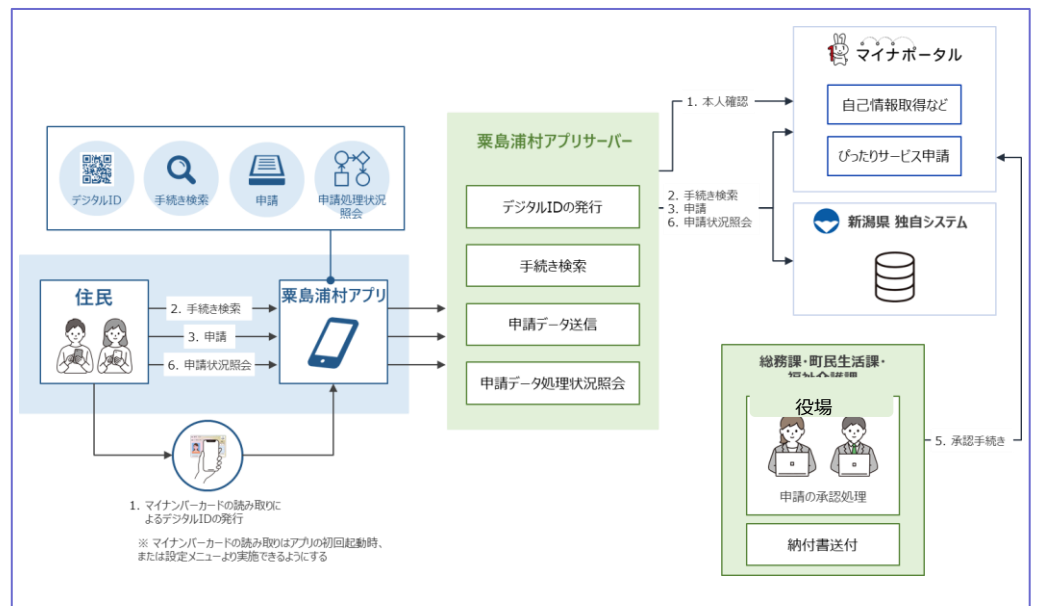
（手順） 行政として、住民にとって使い慣れた既存アプリがオンライン申請の入口とすることで、日常使いのアプリにより、忌避感を最小限にします。役場からのお知らせアプリに、機能を集約することで、住民にとって分かりやすくします。住民に対し、利用のための講習を開催します。

マイナンバーカードとしらせあいアプリを連携したびったりサービスの導入

子育て	1 児童手当等の支給資格及び児童手当の額についての認定請求	R3. 7
	2 児童手当等の額の改定の請求及び届出	
	3 氏名変更／住所変更等の届出	
	4 支給事由消滅の届出	
	5 未支払の児童手当等の請求	
	6 児童手当等に係る寄附の申出	
	7 児童手当に係る寄附変更等の申出	
	8 支給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の申出	
	9 支給資格者の申出による学校給食費等の徴収等の変更等の申出	
	10 児童手当等の現況届	
その他	11 支給認定の申請	R3. 10
	12 保育施設等の利用申込	R3. 10
	13 保育施設等の現況届	R3. 7
	14 児童扶養手当の現況届の事前送信	R3年度中
	15 妊娠の届出	R3. 7
	16 消防法令における申請・届出等	R3年度中
	17 特別児童扶養手当所得状況届	R3. 7
	18 障害児福祉手当（福祉手当）所得状況届	R3. 7
	19 特別障害者手当所得状況届	R3. 7

介護	1 要介護・要支援認定の申請	プリセット済
	2 要介護・要支援認定の更新申請	
	3 要介護・要支援認定の状況区分変更認定の申請	
	4 居宅（介護予防）サービス計画作成（変更）依頼の届出	
	5 介護保険負担割合証の再交付申請	
	6 被保険者証の再交付申請	
	7 高齢介護（予防）サービス費の支給申請	
	8 介護保険負担限度額認定申請	
	9 居宅介護（介護予防）福祉用具購入費の支給申請	
	10 居宅介護（介護予防）住宅改修費の支給申請	
支援者	11 住所転移後の要介護・要支援認定申請	プリセット済
	12 罹災証明書発行申請	R2. 10
その他	13 道路占用許可申請等	プリセット済
	14 粗大ごみ収集の申込	
	15 火の登録申請、死亡届	
	16 職員採用試験申込	

※ 対象手続は、地方公共団体の意見を踏まえて、随時拡大する予定



※業務遂行に向けたデジタル推進委員への委託（事業費内の10,000千円）
住民に向けたシステム普及への提言・斡旋、本事業のアドバイス、会議への参画並びに事業成果の達成に向けて委託をします。島内常駐し、24時間・365日対応 ➡ POO事業推進体制

※外部組織委員への委託（事業費内の2,000千円）
PDCAサイクルに基づく会議の出席、提言レポートを求め、事業の将来性などを客観的に意見を求めます。 ➡ POO 庁舎の推進体制 POOPDCAの実施体制

サービス概要 (3/7)

■ サービス内容

サービス名	粟島既存アプリ「しらせあい」機能追加 『島民及び観光利用の電子クーポン配布』	事業費	39,000千円
ターゲット	粟島への観光客（年間約2万人） / 粟島浦村住民 および 島内観光業		
展開エリア	新潟県粟島浦村、島内観光客（全国）、全国の離島やへき地		

サービス内容（事業分野：⑪観光）

★全国自治体やNPO等からの照会等の窓口開設
(終日、24時間、365日対応します。)

地域クーポンの発行

（課題） 集計時の人件費よりクーポン発行には、集計業務など人権費などの経費が多くかかります。発行までの期間も必要であり、利用者を細かく設定することも困難でした。

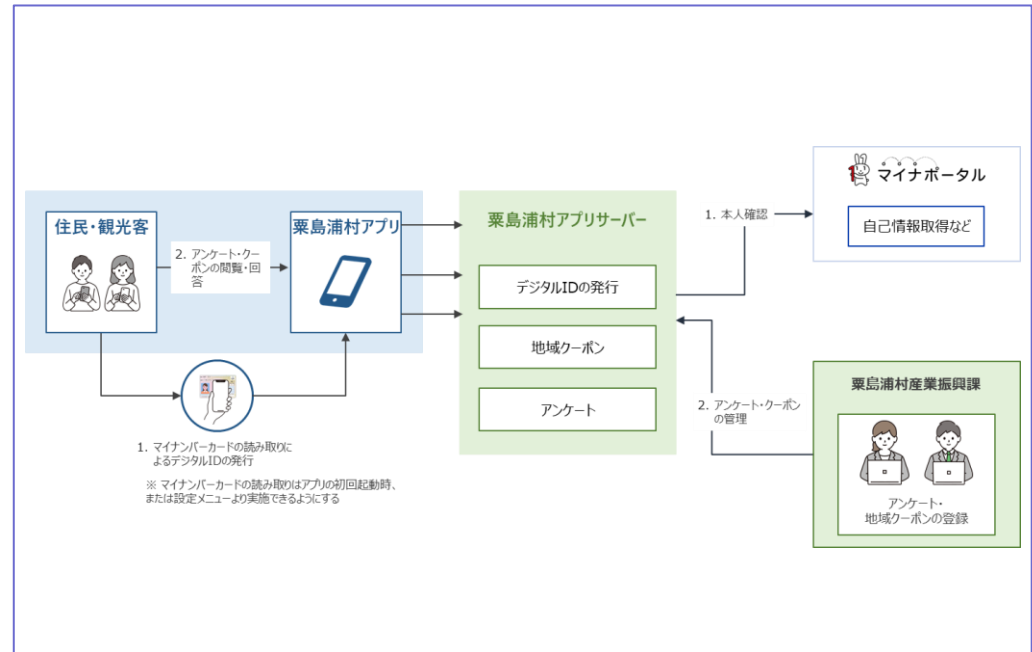
（手順） 従来の役場産業振興課より世代や季節に合わせた電子クーポンを島民および観光客に対して発行するだけでなく、活性化させたい事業に対し、容易に施策を実施することが可能となります。

アンケート

（課題） 行政の政策に対するフィードバックを得る方法が、アンケートなどの紙方式の場合、紙・印刷代・郵送費などの経費が多かったです。またアンケート実施まで期間も必要でした。

（手順） マイナンバーカード連携により、アンケート機能は対象の方に通知が可能となります。オンライン通知によるアンケート送付も可能となり、施策に対する信頼性の高いフィードバックを得る事ができ、年2回のPDCAの指標としても活用できます。

この機能を活用し、将来的に安全かつ簡単に、郵送の代わりにオンラインで通知・手続きを完了できるようにします。例えば年代別の健康診断の案内を通知、オンライン上で手続きを完了させることや、水道・ガス・電気などの請求・決済を可能にすることを目指し、マイナンバーカード連携オンライン行政手続きをします。



サービス概要（4/7）

■ サービス内容

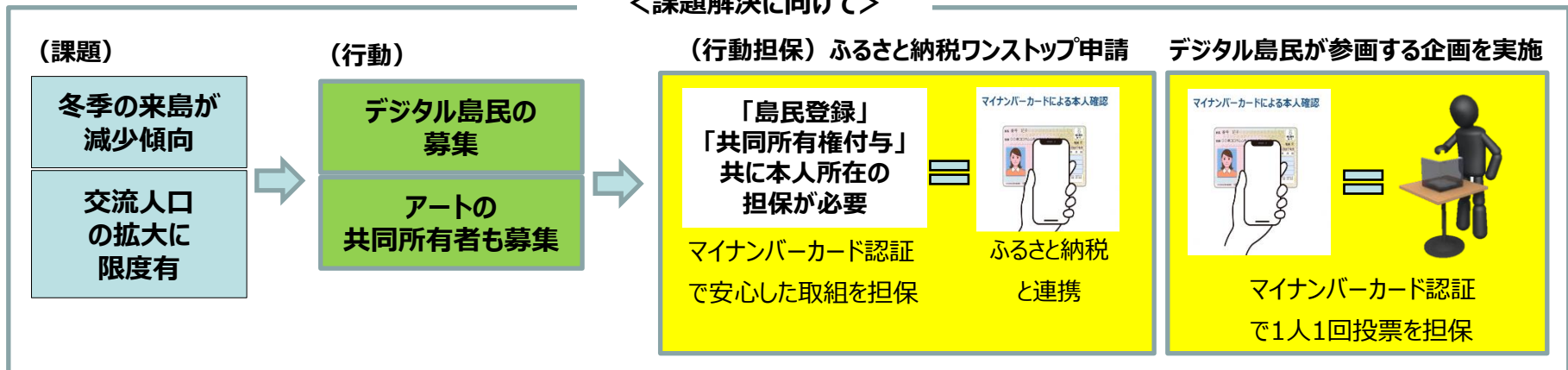
サービス名	マイナンバーカードを活用した観光資源の向上と交流人口の拡大	事業費	20,000千円
ターゲット	粟島への観光客/ 粟島浦村住民 国内の観光客		
展開エリア	新潟県粟島浦村、島内観光客（全国）全国の離島やへき地		

サービス内容（事業分野：⑪観光）

★全国自治体やNPO等からの照会等の窓口開設
（終日、24時間、365日対応します。）

マイナンバーカードを活用した「デジタル島民」を募集を行い、交流人口の拡大をおこないます。

<課題解決に向けて>



(課題) ・冬季の来島が減少傾向であること。

離島で遠隔地であり、冬季は悪天候でフェリー欠航が多いため、来島時期に限りがあります。

・交流人口の拡大に限度あること。

来島時期も限りがある中、島内でも高齢化が進み、交流人口の拡大が厳しい状況があります。

(行動) 島内に移住することなく、住民になれる「デジタル島民」の募集を行い、交流人口の拡大を行います。

具体的には、マイナンバーカードを活用することで身元の証明担保が保てる事から本事業で安心して「デジタル島民」を募集できます。

デジタル島民には「電子住民票」を発行。発行の際は、マイナンバーカード認証サービスを活用し、「デジタル島民」の登録を行います。

またデジタル島民へは、納税（寄付）を受付し、ふるさと納税ワンストップ申請を取り入れ、実施します。

サービス概要 (5/7)

■ サービス内容 (続き)

サービス内容 (事業分野：⑪観光)

ミューラルアートを「デジタル島民」と「住民」を繋ぐ象徴に

(行動) 「デジタル島民」の「電子住民票」の発行と、実在する「ミューラルアート」の共同所有権の権利も発行。双方ともにマイナンバーカード認証サービスと連動させて発行します。

(手順)

1. 粟島を表現するミューラルアートを制作し、島の象徴として扱います。
2. ミューラルアートはデジタル版も制作し、「電子住民票」として発行します。
3. 「電子住民票」は「ふるさと納税ワンストップ申請」を導入し、「デジタル島民」の登録と寄付を募ります。

また、実在するミューラルアートも共同所有者権利も同様の手順で寄付を募ります。

双方の特性上、所有者の正確な情報を担保する必要があることから、「ふるさと納税」に「マイナンバーカード認証サービス」を連動させ、「ワンストップ申請」を導入。ふるさと納税へ紐づけ、島内の財源にします。

さらに実在する「ミューラルアート」も来島目的へ繋げ、観光収入に繋がります。

住民とデジタル島民の交流 = 交流人口の拡大へ。

ふるさと納税で寄付を得た財源は、島の住民とデジタル島民へ寄与させます。

(行動) 住民とデジタル島民と一緒に企画参画を行うコミュニティを創造します。

- (一例) ・住民の子供たちとデジタル島民が参加できるワークショップを企画
(アート作家、プロのパフォーマーによる講座をオンライン上で実施)
- (一例) ・行政、観光事業者が実施 = デジタル島民が帰村し一緒に体験する企画
(「デジタル島民島開き」の開催)

一例にあげた企画を立案、住民とデジタル島民が参画する「投票方式」で決定します。本事業でマイナンバーカードと連携される粟島既存アプリ「しらせあい」を活用することで1人1票投票の公平性を保ちます。

また住民は、所在が明確化されたデジタル島民と安心した交流が担保されます。離島で遠隔地であることから抱える課題を、マイナンバーカードを活用することで、交流人口の拡大を行えます。

<課題>

離島で遠隔地であることから

冬季の来島が
減少傾向

観光収入
交流人口に限度有

<課題解決への行動>

粟島を繋ぐミューラルアートを2つ制作

<ミューラルアートを活用>

アートをデジタル版へ
「電子住民票」
で発行

実在するアートの
「共同所有権」
を発行

<納税寄付者へ>

マイナンバーカードによる本人確認



所有者の正確な情報を担保する必要があり、マイナンバーカード認証サービスと連動して実施

↓
ふるさと納税ワンストップ申請として寄付を受付、「デジタル島民」「アートの所有者」として登録。交流人口の構築へ繋がります。

サービス概要 (6/7)

■ サービス内容

サービス名	粟島汽船システム改修及び乗船手続き設備追加	事業費	50,000千円
ターゲット	粟島への観光客（年間約2万人） / 粟島浦村住民 および 島内観光業		
展開エリア	新潟県粟島浦村、島内観光客（全国） 横展開の全国離島航路事業者や運輸事業者		

サービス内容（事業分野：⑪観光）

★運輸事業者からの照会等の窓口開設
（終日、24時間、365日対応します。）

汽船システム マイナンバーカード連携機能追加

（課題）離島のため、粟島汽船の乗船が唯一の交通手段です。乗船名簿は乗船都度手書きで記載を求めているため、乗船受付時は混雑し、本人確認が行えない課題があります。

（手順）マイナンバーカード連携機能のAPIを利用し、乗船者の信頼性が高い情報を利用が簡単なQRコード読み取り、でデジタル情報として取得します。

乗船・宿泊手続きの簡易化、島内の安全管理

（課題）無医村の本村は役場が急病の対応を受付しておりますが、来島者が急病になった際の本人確認が難しい場合があります。

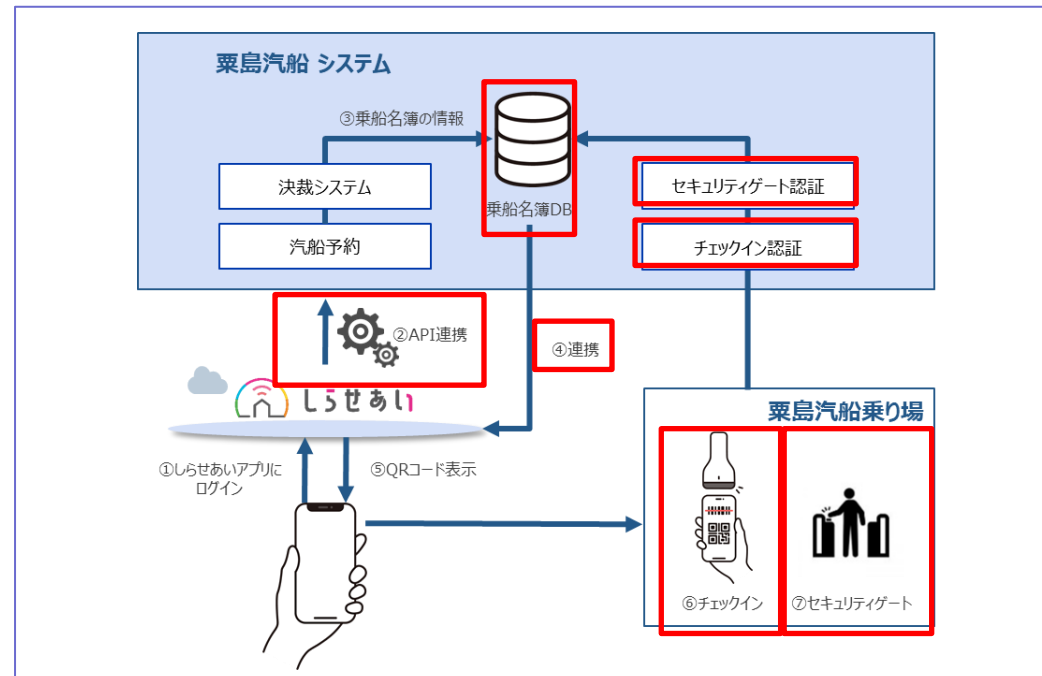
新型コロナにおける感染症では、来島者の発熱、濃厚接触情報の取得は困難でした。

（手順）マイナンバーカード活用で乗船手続きをすれば本人認証が出来ます。乗船時のデータを役場・宿泊施設で共有することで、急病時の迅速な対応が可能となります。また来島後の発熱における、追跡確認の情報把握が容易かつ確実性が増します。

乗船手続き（チェックイン）、乗船ゲート設置

（課題）乗船名簿は乗船都度手書きで記載を求めているため、乗船受付時は混雑する課題があり、対応する人手も必要です。

（手順）決済・乗船登録もオンラインで実施し、乗船手続き・乗船においてもQRコードで自動化することにより、効率化できます。



※ 赤線は、本事業開発対象

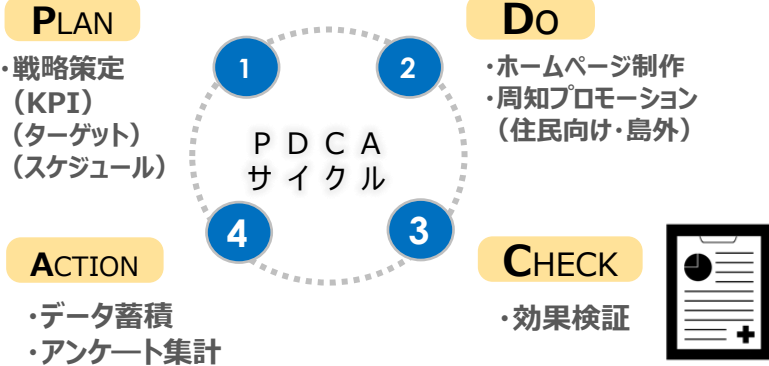
サービス概要 (7/7)

■ サービス内容

サービス名	粟島既存アプリ「しらせあい」 「デジタル島民募集」周知広報	事業費	30,000千円
ターゲット	粟島浦村住民 粟島への観光客/国内の観光客		
展開エリア	新潟県粟島浦村、島内観光客（全国）、横展開の全国離島航路業者や運輸事業者		

サービス内容（事業分野：①観光）

①周知広報に向けたPDCAサイクルを可視化（策定）



②ホームページの制作と運用、横展開窓口開設(24時間、365日対応) (情報集約/紹介)

- 粟島既存アプリ「しらせあい」
- デジタル島民募集
- ふるさと納税
↑既存HPへリンク
- 粟島浦村
- 粟島観光協会
- 粟島汽船



③住民に向けた周知プロモーションを中心に実施

- ※住民に向けた周知広報 = 住民向けにイベント開催
粟島既存アプリリニューアル後に開催
- 粟島汽船乗船券購入体験イベント
 - 電子クーポン獲得イベント
 - アプリ使い方クイズイベント
- などの開催の他集客に向けたお楽しみイベントも開催。
- ・住民とデジタル住民が参加するイベントの開催
= 住民と交流する「デジタル島民 島開き」開催



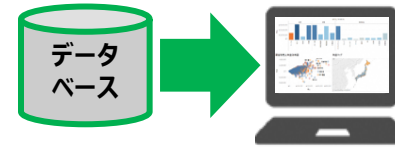
※島外に向けた周知広報

- 駅、商業施設等のサイネージ・ポスター等へ広告出稿
- Web広告の実施、メディアへの発信



④データをDMPで分析・可視化。

- 検証・振り返りにより分析。次年度への構築
- ※（粟島既存DMP = データマネジメントプラットフォーム）も活用
- 粟島浦村
 - 粟島観光協会
 - 粟島汽船



※粟島既存DMPはサービス概要補足（1/2）に掲載しております。 DNPを活用し可視化

⑤データ蓄積による次年度計画を策定

データ分析を蓄積し、結果を元に議題を明確化。
次年度に向けた提言・アクションプランをまとめ策定。